

# 養殖瓦版

平成20年3月12日発行  
(第8号)

発行：千葉県水産総合研究センター・生産技術研究室  
〒295-0024 千葉県南房総市千倉町平磯 2492  
phone：0470-43-1111 fax：0470-43-1114  
E-mail：chib-pfrc@mz.pref.chiba.lg.jp

## 水産用ワクチン

### ○ヒトのはしかとワクチン

昨年、ヒトの「はしか」が流行しました。今年も流行の兆しがあり、予防のためワクチンの接種が呼びかけられています。「はしか」ワクチンの正体は生きたウイルスで、病原性が弱めてあり、これを人体に接種すると「はしか」で苦しむことなく免疫力が高まります。

ワクチンには「はしか」のようなウイルス性疾病に対するものや、「破傷風」のような細菌性疾病に対するものがあります。ヒトと同じ脊椎動物である魚類にも免疫の仕組みがあり、ウイルス性魚病や細菌性魚病の予防にワクチンが有効な場合があります。

### ○水産用ワクチンの種類が増加

農林水産省が発行する「水産用医薬品の使用について」を見ると、水産用ワクチンの種類は版を重ねるたびに増加しています(下表)。対象魚種は、第18報(平成16年)ではまだ、ぶり属魚類、しまあじでしたが、第19報(平成18年)以降、ひらめがこれに加わりました。養殖場で問題となっている魚病の予防策としてワクチンを使うことが出来る可能性は高まっています。

### ○水産用ワクチンを活用するためには

養殖場で問題となっている魚病の原因を正確に知り、それに合ったワクチンを選択し、適切に使用することが大切です。これまで症状や死亡状況から自己診断していた疾病でも、一度当研究室に持ち込まれてはいかがでしょうか。

表 農林水産省が発行する「水産用医薬品の使用について」に記載がある水産用ワクチン

医薬品名	対象魚種 (第21報, 平成20年)	対象疾病	用法	第18報 平成16年	第19報 平成18年	第20報 平成18年	第21報 平成20年
ピシバック レンサ	ぶり	α 溶血性レンサ球菌症	経口投与	○	○	○	○
“京都微研” マリナレンサ				○	○	○	○
アマリン レンサ			注射	○	○	○	○
ポセイドン「連鎖球菌」				○	○	○	○
Mバック レンサ注	ぶり属魚類	β 溶血性連鎖球菌症	浸漬	○	○	○	○
マリンジェンナー レンサ1				○	○	○	○
ノルバックス ビブリオ mono				○	○	○	○
Mバック イニエ	ひらめ	β 溶血性連鎖球菌症	注射	○	○	○	○
マリンジェンナー ヒラレン1				○	○	○	○
イリド不活化ワクチン「ビケン」	まだい, ぶり属魚類, しまあじ	イリドウイルス感染症	○	○	○	○	
ピシバック注 ビブリオ+レンサ	ぶり	α 溶血性レンサ球菌症, J-O-3型ビブリオ病	注射	○	○	○	○
“京都微研” マリナコンビー2				○	○	○	○
イリド・レンサ混合不活化ワクチン「ビケン」	ぶり属魚類	イリドウイルス感染症, α 溶血性レンサ球菌症	○	○	○	○	
ノルバックス類結/レンサOil	ぶり	α 溶血性レンサ球菌症, 類結節症	○	○	○	○	
ピシバック 注 3混	ぶり属魚類	イリドウイルス感染症, J-O-3型ビブリオ病, α 溶血性レンサ球菌症	注射	○	○	○	○
イリド・レンサ・ビブリオ混合不活化ワクチン「ビケン」	ぶり, かんぱち			○	○	○	○